

事業名	ラスト自然クラブ
事業の特徴	生涯学習センターの講座と修了生の自主クラブの運営支援（生涯学習センター主催の講座「ラスト自然文化塾（現・ラスト自然観察講座）」の修了生による自主クラブの運営、企画イベントの開催など）

実施機関名	伊丹市立生涯学習センター（公益財団法人伊丹市文化振興財団）
連絡先	〒664-0865 兵庫県伊丹市南野2-3-25 TEL 072-781-8877 FAX 072-781-9292 URL http://hccweb1.bai.ne.jp/lustrehall/
事業規模	市区町村
事業主体	社会教育施設
事業のテーマ分野	自然体験活動（環境問題）

1 事業の概要

「ラスト自然クラブ」とは、平成13～17年度に実施した「ラスト自然文化塾」修了生により、平成13年10月に設立されたボランティア団体である。講座終了後、そこで学んだ自然に関する知識を地域に還元して、地域市民の自然環境に対する意識の啓発を趣旨として活動している。ラストホール（伊丹市立生涯学習センター）と共同で行う事業の企画・運営のほか、毎月の定例会やオプション行事、自然環境保護活動への参加など、活発な活動を行っている。

平成17年度で「ラスト自然文化塾」は終了したが、平成18年度以降は別の形での講座を実施し（H18：ラスト自然体験講座、H19～：ラスト自然観察講座）、その講座を修了した者のみがラスト自然クラブに入会できる形となっている。



ラスト自然観察講座

2 事業の趣旨、目的

自然破壊が進んで貴重な草木・生物が失われ、以前のように自然に触れ合える機会が少なくなった現在、身近にある自然に親しみ、そして自然を学ぶために「ラスタ自然文化塾」が開講された。講座では、近隣の山や公園での自然観察や専門家による講義などを通して、自然の素晴らしさや面白さを体験し自然への関心を高めるとともに、自然環境の保護に取り組むことの大切さや、学び感じたことを周囲や次世代へ伝える必要性を受講生に感じてもらった。そしてそれらを実践するべく、受講生有志によって講座修了後に、ボランティアグループである「ラスタ自然クラブ」が結成された。

ラスタホールとしても、自身の講座から生まれた同クラブの活動をバックアップしていくのももちろんのこと、工作教室や自然観察会など様々な事業を共催し、地域の生涯学習拠点としての役割を果たしていくことができると考える。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

現在、ラスタホールでは一般の方を対象に、自然の素晴らしさや奥深さを体験していく自然観察の入門講座として「ラスタ自然観察講座」を実施している。講座の企画運営及び講師はラスタ自然クラブが担当しており、内容は主に近隣の森林や公園に足を運び、そこにある様々な花や草木、生物をクラブメンバーが解説しながら行う自然観察ハイキングである。講座は通年講座として行われ、全7回で完結する。

受講者15名の内の多くは定年退職者や主婦の方で、自然観察は初めてという方も多いが、自然クラブメンバーによる親身でかつ熱心なレクチャーにより、多くの方から好評を得ている。また、受講者はラスタホール内外で行われる自然クラブの事業にもスタッフとして参加してもらい、さらに幅広く自然を学ぶ機会を得ることができる。

受講者には講座修了後にラスタ自然クラブの入会資格が与えられ、毎年ほぼ全員が会員となり、その後も活動を続けている。

(2) 学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

①ラスタ自然工作教室

子どもたちが自然に親しみ、その不思議さや面白さを感じてもらうために、自然素材を使った工作イベントを毎年夏休みに実施している。

ここでは事前に募集した小学生50人を対象に、様々な木片や木の実、葉、竹などを使って、小物や飾り、動物やおもちゃなどを作る。どのようなものを作るのかなど実施内容はラスタ自然クラブが考案し、材料集めや当日の子どもたちのサポートもクラブメンバーが行う。今ではなかなか目にすることのない様々な木の実や葉などの自然の素材に触れ、実際にそれらを使い、子どもたちの自由な発想で作品を作り上げることで、それら自然の造形の不思議さと素晴らしさを体感してもらうことが狙いである。

②ラスタこども広場

内容やねらいは「自然工作教室」とほぼ同様だが、こちらは定員を設けず、大人から子どもまで幅広く参加できる。21年度で9回目を迎える事業であるが、毎年200人ほどの親子連れが参加し、幅広い年代層が楽しんでいる。リピーター率も高く、地域の子どもたちにも広く知られるところとなっている。こちらも自然クラブが実施内容の決定や材料集めを行い、当日の子どもたちのサポートも行う。自然観察講座受講者も補助スタッフとして参加している。

③公開講座

「樹木」や「昆虫」、「野草」など自然をテーマに専門の講師を迎えて行う無料の講演会を実施しており、実施内容や講師の選定は自然クラブが行っている。自然クラブメンバーの学習の場としてだけでなく、広く一般の方々にも自然の素晴らしさ・大切さを学んでもらう場として、これまでに5回実施している。

④伊丹緑地の樹木観察会

地域での社会貢献活動として、一般市民を対象に年2回、春と秋に開催している。伊丹市内にある自然豊かな「伊丹緑地」の様々な草花を観察しながら楽しむものである。引率及びレクチャーはラスタ自然クラブが担当し、参加者に身近な自然を知るきっかけとしてもらうほか、クラブメンバーが、学んだ成果を発表する場でもある。

このように、ラスタ自然クラブではラスタホールと共同で「自然を知り、遊び、学ぶ」事業を多彩に企画しているほか、クラブ内で定例会として行われている自然観察会や森林ボランティア活動なども実施している。



ラスタこども広場



公開講座

(3) 推進体制等の仕組み

ラスタ自然クラブの活動の成果を活かす場として、クラブメンバーは、「自然観察講座」や「樹木観察会」、その他工作教室等で講師やサポート役を担当している。それにより学んだ知識を地域に還元することを実践しているほか、クラブ内には、自然・環境問題など各々関心のあるテーマを一緒に研究する分科会もあり、熱心な活動を展開している。

また、「ラスタ自然観察講座」受講生にも自然クラブの活動への参加を促し、クラブに対する

受講者の意識を高めるとともに、講座修了後の自然クラブへの入会や活動を支援している。

4 成果と今後の取組

ラスト自然クラブはその活動実績が認められ、地域ボランティア団体の成功例として市内各施設で活動実績や団体紹介をする場が増えており、市内外でも広く認知されるようになってきた。近年ではラストホールだけでなく、市内小学校や幼稚園・保育所でも工作教室や環境体験学習の実施を要請されるなど、ますます活動の場を広げている。

課題としては、毎年「ラスト自然観察講座」の修了生がラスト自然クラブに入会するため大所帯となり、クラブ内での連絡体制や運営・統率にかかる負担が大きくなってきていることである。ラストホールとも十分に調整をしながら、スムーズなクラブ運営のシステムを再構築していきたい。

【執筆者の職・氏名】伊丹市立生涯学習センター 副館長 太田 裕也